

2022年度

理学部ディプロマポリシー（学位授与方針）

理学部	<p>理学部では、物理学・化学・生物科学の分野における高水準の知識と実験技術を身に付け、幅広い視野と柔軟な思考力を兼ね備えた研究者・専門技術者・教育者となる人材を育成することを目的とします。こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。</p> <p><u>(1) 自然科学の基本原則を理解し、これを基盤とした測定・解析技術 (SG1)</u></p> <p><u>(2) 基礎知識と実験技術に基づいた、自然現象・生命現象に対する正確な判断力 (SG2)</u></p> <p><u>(3) 科学的な知識、思考、判断により社会が直面する問題に取り組む意欲、能力 (SG3)</u></p>
物理学科	<p>理学部物理学科では、自然現象に潜む原理や法則を理解し、多彩な自然現象や物質の性質を解明するための基礎力を身に付け、宇宙論から生命現象まで、さまざまな分野において未知の領域に切り込んでいく力を備えた人材を育成することを目的とします。こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。</p> <p><u>(1) 自然現象の物理的な原理を理解し、これを基盤とした測定・解析・情報処理技術 (SP1)</u></p> <p><u>(2) 近年、広がりを見せる物理的な方法論に対するニーズに応え、物理的知識、測定・解析・情報処理技術を物理領域のみならず、様々な境界領域において活用し、フロンティアを切り拓いていく能力・意欲 (SP2)</u></p>
化学科	<p>理学部化学科では、実社会における多様な製品の生産基盤である物質の性質とその変化に関する基礎知識（構造、反応、機能、合成）を教授し、実践を通して生命科学や環境科学から医療、教育にわたる幅広い分野での研究・開発で活躍できる人材を育成することを目的とします。</p> <p>こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。</p> <p><u>(1) 基本原理に基づく測定・解析能力を修得し、物質の構造、反応機構を究明できる能力 (SC1)</u></p> <p><u>(2) 基礎知識を用いた物質の設計、合成と機能評価ができる実践力 (SC2)</u></p> <p><u>(3) 物質に対する広汎な知識、的確な判断力を基に、生命科学をはじめとする様々な分野での意欲的な立案、実行能力 (SC3)</u></p>
生物科学科	<p>理学部生物科学科では、生命科学についての高度な知識と研究技能を有するとともに、普遍的な生命現象のしくみを理解し、生物学や基礎医学などの多岐にわたる分野で活躍できる科学的思考能力を備えた人材を育成することを目的とします。こうした人材を育成するために、以下の資質・能力を修得した者に学位を授与します。</p> <p><u>(1) 生物科学の基礎となる分子生物学・細胞生物学の知識・研究技法を学び、研究を遂行できる能力 (SB1)</u></p> <p><u>(2) 発生学や免疫学を学び、生命科学の広い分野に研究を展開できる能力 (SB2)</u></p> <p><u>(3) 社会が直面する問題の解明や技術革新に貢献しうる科学的思考能力と意欲 (SB3)</u></p>

※科目シラバスの「授業の目的」に記載されている番号は、ディプロマポリシーとの関連番号です。

※それぞれの授業が、どのように関連し、ディプロマポリシー達成のためにどのような能力が身に付けられるのかを図で表したものが「カリキュラムツリー（次ページより記載）」です。シラバスだけでは分かりにくい、カリキュラムの全体の姿を確認することができます。

理学部ホームページ「学部案内→（各学科）→カリキュラム」でもご確認ください。